

◆既に入力済みの伝票で得意先情報を再読み込みする方法

(画面例はすべて『PCA 商魂』を使用しています)

既に入力してある売上傳票などで、後から変更した得意先の情報が反映されない場合、得意先の情報を再読み込みすることで伝票を削除することなく得意先の情報を反映させることができます。

以下をご覧になり伝票一枚ずつ呼び出して修正してください。

得意先情報の再読み込みが有効なパターンとして以下が考えられます。

- 売上傳票を登録した後に「得意先の登録」で[請求先]をつけた場合
- 売上傳票を登録した後に「得意先の登録」で[消費税端数]の設定を変更した場合
- 売上傳票を登録した後に「得意先の登録」で[金額端数]の設定を変更した場合
- 売上傳票を登録した後に「得意先の登録」で[消費税通知]を[免税]、または[明細単位]から変更した場合
- 売上傳票を登録した後に得意先の登録で[消費税通知]を[免税]、または[明細単位]へ変更した場合

※ [納品書毎] ⇔ [請求書一括] を変更する場合は、請求書の計算時に得意先の情報をもとに消費税の再計算をします。得意先の再読み込みは必要はありません。

【操作手順】

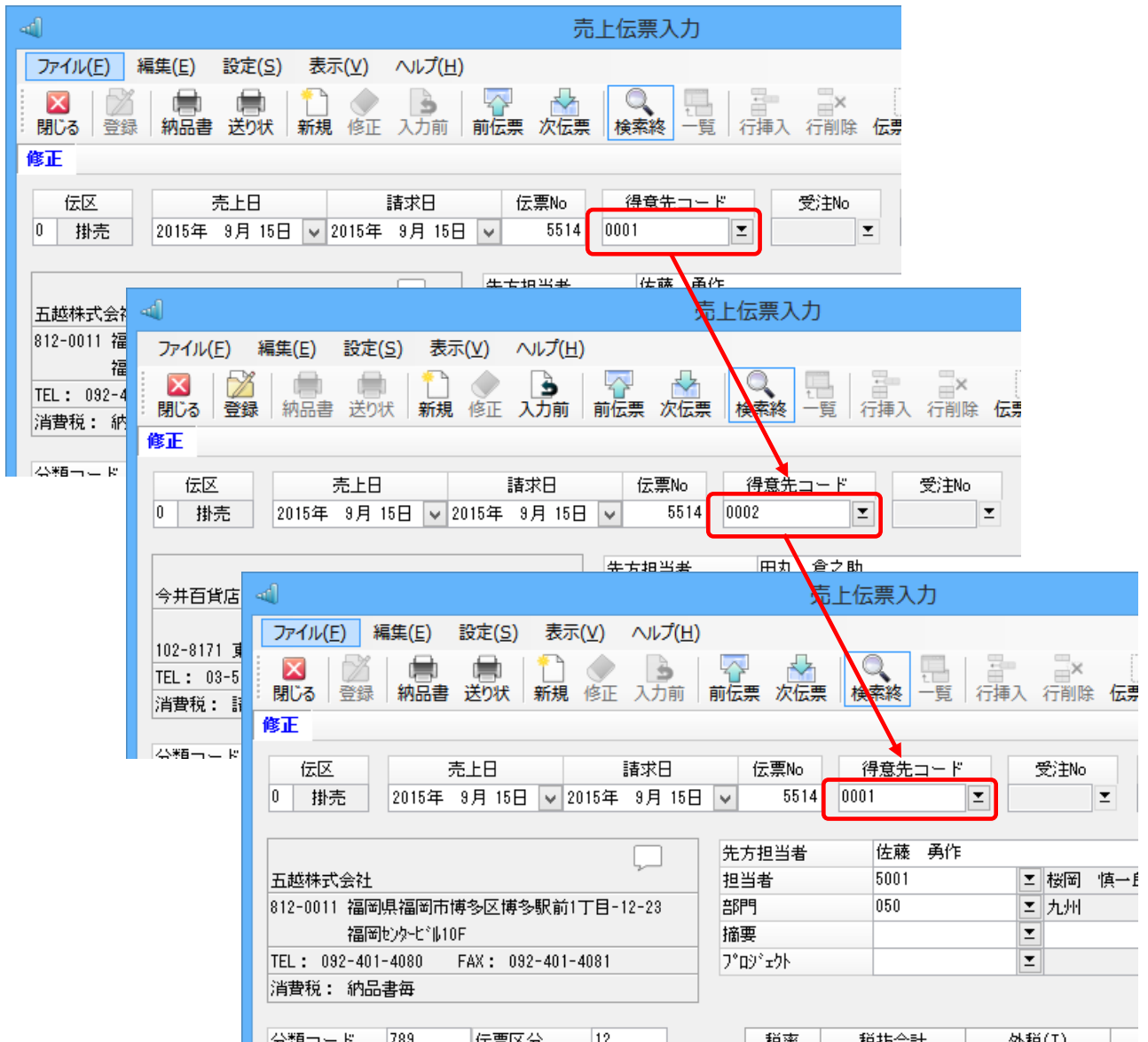
- ① メニューの「前準備」－「取引先」－「得意先の登録（個別式）」を起動し、[請求] タブをクリックして、設定が正しいかを確認します。

正しく設定されていない場合は、修正し、登録してください。

参照 (0015)株式会社 藤田	
得意先コード	0015
得意先名 1	株式会社 藤田
得意先名 2	大阪支社
会社敬称	御中
加索引	フジタ
使用区分	0:許可

基本		先方担当者		販売		請求		コメント	
請求先コード	0014	株式会社 藤田		東京本社					
請求締日									
与信限度額	0	繰越残高	0						
金額端数									
消費税端数									
消費税通知									
請求書用紙									
請求書社名									

- ② 「販売管理」－「売上」－「売上傳票入力」を起動し、該当の伝票を呼び出し、得意先コードを一旦別のコードにします。別の得意先が表示されたのを確認後、再度正しい得意先コードを選択し直し登録します。



以上の作業で今現在の得意先の情報が伝票に反映されます。

- ③ ①で確認した「前準備」－「取引先」－「得意先の登録」で設定した内容が、②で修正した伝票に反映しているかを確認してください。

作業は以上になります。